

[成果情報名]三重県内のアブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分類に応じた品種選択

[要約]県内に分布するアブラナ科野菜根こぶ病菌の主な病原性グループは、グループ4であり、一部地域ではグループ2とグループ4が混在する。四日市市及び熊野市のアブラナ科野菜産地ではグループ2と4に対する抵抗性品種の利用が推奨される。

[キーワード]アブラナ科野菜、根こぶ病、病原性グループ分類

[担当]三重県農業研究所 農産物安全安心研究課

[分類]普及

[背景・ねらい]

アブラナ科野菜根こぶ病の対策技術の一つとして、抵抗性品種の導入があるが、地域によっては抵抗性品種が激しく罹病する場合がある。三重県では根こぶ病菌の病原性グループ分類に基づく分布調査は行われていない。そこで、本病の防除対策の指針とするため、県内のアブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分布を調査し、発生する根こぶ病菌に対するハクサイ、キャベツの抵抗性を明らかにする。

[成果の内容・特徴]

1. 県内のアブラナ科野菜から採取した根こぶ病菌 21 菌株の病原性グループ分類は、グループ 2 (G2) 及びグループ 4 (G4) に属し、県内では、主に G4 に属する根こぶ病菌が占有する。ただし、四日市市のハクサイ、ブロッコリー及び熊野市のタカナでは G2 と G4 が混在する (図 1)。
2. ハクサイ及びキャベツの根こぶ病抵抗性品種は、G4 に対して抵抗性の品種 (G2 は罹病性) と G2 と G4 の両方に抵抗性の品種がある (表 1)。
3. 根こぶ病対策として品種選定する場合、県内の主なアブラナ科野菜産地では、G4 に対する抵抗性品種の利用で対応できるが、四日市市及び熊野市のアブラナ科野菜産地では、G2 と G4 に対する抵抗性品種の利用が推奨される。

[成果の活用面・留意点]

1. アブラナ科野菜根こぶ病の基本対策は圃場内の病原菌密度を高めないことである。根こぶ病抵抗性品種と薬剤防除等の併用で圃場の病原菌密度を低下させる対策を推奨する。

[具体的データ]

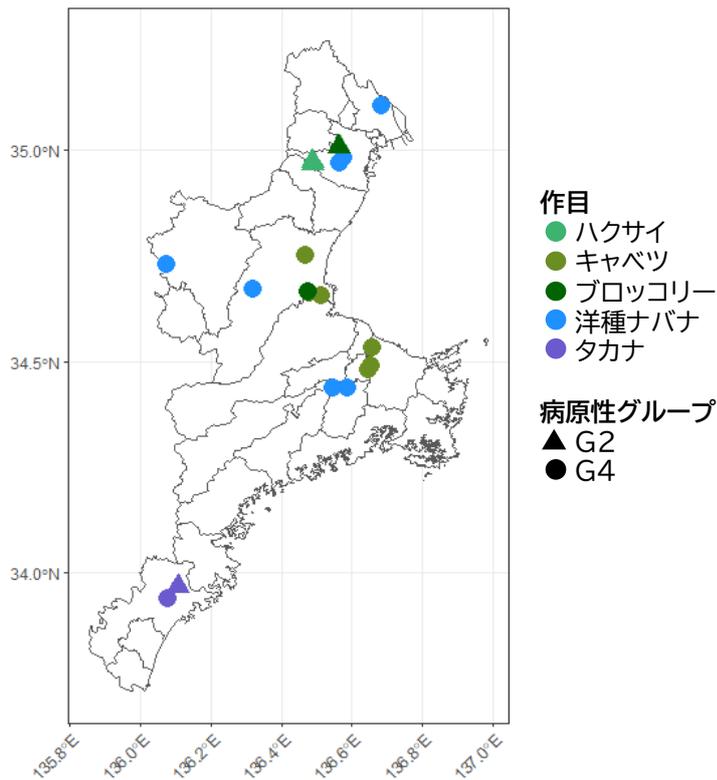


図1 三重県で発生したアブラナ科野菜根こぶ病菌の病原性グループ分布

表1 三重県内で採取した根こぶ病菌に対するハクサイ、キャベツの品種抵抗性

作目	供試品種	品種の根こぶ病 抵抗性表記	品種の抵抗性程度 ^{a)}	
			G2	G4
ハクサイ	無双	感受性	+	+
	勝黄	抵抗性	+	±
	黄愛90、黄ごころ90	抵抗性	+	-
	きらぼし90	抵抗性	±	-
	CR寒次郎、冴黄90、SCRひろ黄、あきめき	抵抗性	-	-
キャベツ	夢舞妓、YRまつち、ふゆおこ、強力まどか、F1改良愛輝	感受性	+	+
	光彩	感受性	+	±
	翠緑	耐病性	±	-
	BCR龍月、YCRふゆいろ	抵抗性	-	-

a) -: 強い抵抗性(平均発病度1.0未満)、±: 弱い抵抗性(平均発病度1.0以上2.0未満)、+: 罹病性(平均発病度2.0以上3.0)

(中嶋香織)

[その他]

研究課題名: AI を活用した土壌病害診断技術の開発

予算区分: 委託プロ (AI 土壌病害診断)

研究期間: 2017~2021 年度

研究担当者: 中嶋香織、川上 拓、黒田克利、磯崎真英、西野 実

発表論文等: なし